

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ここあーる			
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～	令和7年11月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	令和7年12月20日		～	令和7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの特性や発達段階を踏まえた支援を行う体制が整っており、専門性を意識した支援が実践されている点が強みとして挙げられる。 個別支援計画はアセスメントに基づいて作成され、保護者からは「子どもに合っている」「成長を感じる」といった意見が多く見られている。今後も専門職の視点を活かしながら、支援内容の充実が期待される。	午前・午後でクラスや人数を分けるなど、利用人数や子どもの成長段階に応じた環境調整を行っている。 限られたスペースの中でも、安全性と活動のしやすさを確保し、落ち着いて過ごせる環境づくりに努めている。	日々の振り返りやケース会議、職員面談を通して得られた気づきや課題を整理し、支援内容や業務の改善に継続的につなげていく。 職員間での情報共有を丁寧に行い、支援の質の向上を図る。
2	子どもの状態や活動内容に応じて職員配置を調整し、比較的落ち着いた環境の中で支援を行えている点が強みである。 少人数制を基本とし、支援前後の打ち合わせを通して情報共有を行うことで、一定の支援の統一が図られている。	支援前後のミーティングや日々の振り返り、ケース会議、月1回の職員面談を通して、支援内容や業務の見直しを継続的に行っている。 職員の意見を共有し、PDCAサイクルを意識した業務改善につなげている。	ペアレント・トレーニングや交流会等の家族支援について、実施機会の拡充と分かりやすい周知を行い、参加しやすい体制を整える。
3	保護者への説明や情報共有の機会を大切にし、共通理解を図ろうとする姿勢が見られる点が強みとして考えられる。 利用開始時の説明や支援計画の共有、送迎時や連絡帳を通じたやりとりを行っており、丁寧な説明に関する評価も一定数見られている。一方で、より分かりやすい伝え方や継続的な関係づくりについては、今後さらに工夫していく余地がある。	活動プログラムが固定化しないよう、職員間で検討を行い、個別活動と集団活動を組み合わせて支援を提供している。 言語面については、STによる個別支援を取り入れている。	面談や連絡帳、通信等を通じて、子どもの様子や支援の意図を丁寧に伝え、保護者との共通理解をより一層深めていく。 送迎時に十分な説明が難しい場合でも、補完できる伝達方法を工夫していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物が古く、階段や動線等に構造上の制約がある点が課題として挙げられる。 安全面には配慮しているものの、ハード面での限界があり、利用人数や子どもの成長に伴い、狭さを感じる場面がある。	建物構造の制約により、大規模な改修が難しく、環境面の改善をソフト面で補う必要がある。	階段や動線での見守り、表示や配置の工夫、環境の構造化をさらに進め、安全性と分かりやすさの向上を図る。
2	家族支援プログラムについて、実施回数や周知が十分とは言えず、保護者によって認知度に差がある。 「聞いたことがなかった」との意見もあり、情報提供の方法やタイミングに課題が見られる。	家族支援に関する取組が新たに始まった段階であり、継続的な実施や体系的な計画が十分に整っていない。	ペアレント・トレーニングや交流会等を年間計画に位置づけ、定期的な実施と分かりやすい案内を行う。
3	保護者への説明や情報提供の内容・方法について、受け取り方に差が生じる場合がある。 送迎時や限られた時間でのやりとりでは、十分に状況を共有できないことがあり、支援の意図や経過が伝わりにくくなる場面がある。	送迎時の情報共有は時間的制約を受けやすく、また、連絡手段が場面によって分散しているため、伝達内容の深さや分かりやすさにばらつきが生じやすい。 その結果、保護者が支援内容を十分に把握しにくい状況が生まれる可能性がある。	送迎時以外の情報共有手段（連絡帳の活用方法の工夫、面談時の整理した説明等）を充実させ、支援の意図や子どもの様子を分かりやすく伝える体制を整える。 あわせて、職員間で伝達内容や説明のポイントを共有し、情報提供の質を一定に保つ取組を進める。